

# おもしろい本 みつけたよ



ミムラ マサミ・イラスト

発行／富山市教育委員会生涯学習課  
富山市 P T A 連絡協議会

編集／良書特別委員会  
発行日／平成29年12月1日

## 低学年におすすめ



イノシシのアレハンドロの家族はおしゃべりがだいすき。でもアレハンドロは話をしません。心配したお父さんとお母さんはアレハンドロを旅に出すことにしました。  
(福音館書店 本体1,300円)

うれしい気持ち  
ことばになっていくね  
「アレハンドロの大旅行」

きたむらえりさく・え



さむいふゆ、あつたかいつちのなかで、忍法をつかうときをまつにんじんのにんにん。はるになると、パワーぜんかい!! さあ、どんな術をみせてくれるかな。  
(アリス館 本体1,400円)

「よおし、はじめるぞ!」  
「にんじんのにんにん」

ふるやかおるさく・え



むかし、まちのくつやがりつぱなくつをつくりました。みんながほめるので、くつはうめはれてしまい、おうさまのいるおしろへむかいました。  
(福音館書店 本体1,400円)

ポッカ ポッカ ポッカ ポッカ  
「おうさまのくつ」

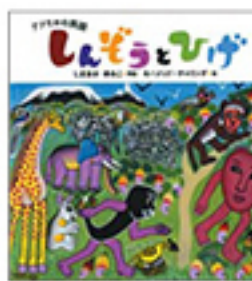
ヘレン・ビル文  
ルイス・スロポドキン 絵  
こみやゆう 訳



きょうは年に一回のいどうゆうえんちがくる日。しずしずべんきようしているコータに「あそびにいこうよ!」と知らない男の子がさそいに来ます。  
(ぎんこ社 本体1,200円)

ママとぼくのふしぎなともたち  
「ポンちゃんはお金もち」

たかどのほうさく・え



なぜ、しんぞうはからだのなかにあつて、ひげはかおにはえているのか、かんがえたことある? タンザニアのたのしいおはなし「パウカー (はじめるよ)」。  
(ポプラ社 本体1,400円)

おなががすいても、おいかけます  
「アメリカの語しんぞうとヒゲ」

しまおかゆみこ 再話  
モハメッド・チャリンドラ 絵



きすだらけのラディは、カイゴセンターにはこぼれました。小さなからだでいっしょうけんめい生きようとしながら、やがてラディは動物たちにそつとよりそいます。  
(講談社 本体1,500円)

いのちのふしぎ、本当のおはなし  
「ねこの看護師」

瀬上サトリノ文  
上杉忠弘 絵

## 高学年におすすめ



今日「ありがとう」って何回言った？  
「テオの「ありがとう」ノート」  
クロアチア・メルツィンクリブリエト 著  
坂田 雪子 訳  
「ありがとう」を言わない決心をしたテオ。それは、自分の胸がいと向きあうためのステップだった。その時からテオは、自分の可能性を大きく広げていく。  
(PHP 研究所 本体1, 400円)



おれは魔術師だ!!  
「魔法が消えていく……」  
サラ・ブリーニース 作  
橋本 恵 訳  
魔力が減少して流れ果ててしまった町ウエルメトで、運命的に出会ったみなしこのコンと魔術師のネバリー。魔力を取り戻し、町を救うことが出来るのだろうか？  
(徳間書店 本体1, 600円)



過酷な大自然を生きる  
「レッド・フォックス」  
カナダの森のキツネ物語  
チャールズ・ワグネル 著  
桂 香子 訳  
知力・体力共に群を抜く一頭の赤キツネ。そんな彼に、自然の驚異や敵が容赦なくおそいかかる。野生動物の生態をリアルに描くカナダの国民的作家の傑作。  
(福音館書店 本体1, 400円)



親友はおしゃべりドロクロ  
「旅のお供はしゃれこうべ」  
泉田もと 作  
父に頼まれたお使いの品を持ち逃げされ、途方にくれる惣一郎。その時出会ったのは、しゃれこうべの助彦。盗まれた品を取り返すため、江戸まで旅をすることに…。  
(岩崎書店 本体1, 300円)



嵐の夜に起きた奇跡  
「ロンと海からきた漁師」  
テン・ジャン・ホン 作  
平岡 敦 訳  
父親を亡くしたロンは、一人で海辺の小屋に暮らしていた。ある朝、漁に出たロンが嵐の中で釣り上げた恐ろしいものは？ 迫力ある絵が印象的。現代のおとぎ話。  
(徳間書店 本体2, 000円)

## 中学年におすすめ



いぬやねや 犬っこや  
「さかさ町」  
F.エマソン・アンドリユース 作  
ルイス・スロポドキン 絵  
小宮 由 訳  
リッキーとアンが立ち寄ったさかさ町は何から何までさかさま。子どもが楽しそうに働いて、学校に行くのは休日だけ。買い物するとお金までもらえちゃう！  
(岩波書店 本体1, 400円)



ひげ？タワシ？しおり？  
「きかせたがりやの魔女」  
岡田淳 作  
はたこうしろう 画  
小学校には、たいてい魔女や魔法使いがいるらしい。ある日学校の階段の踊り場に、突然しゃべるクロツグミと魔女が現れた。魔女が語った六つのお話。  
(偕成社 本体1, 200円)



すてきなことがおこるかも  
「げんきなぬいぐるみ人形ガルドラ」  
モトウィナ・セジウィック 著  
大社 玲子 画  
多賀 京子 訳  
メリーベルの人形ガルドラは、川に流されたり、屋根に投げられたりしてもへっちゃら。魚や鳥とおしゃべりしながら、元氣いっぱい冒険を楽しんでいます。  
(福音館書店 本体1, 300円)



ぼく、おうちに帰りたいよ  
「まいこのアルフィーくん」  
ジル・マーフィー 著  
松川 真弓 訳  
気が小さく優しい狼犬の子犬アルフィーは、嵐の中、森で迷子になってしまった。キツネに助けられ、何とか生きのびたが、怪しい二人組が来て…。  
(評論社 本体1, 200円)



小豆どころか ショリショリ  
「あまーいおかしに妖怪？」  
廣田衣世 作  
佐藤 真紀子 画  
ぼくんちは二百年以上前からづく老舗の和菓子屋。店の手伝いでおつかいに行く、ふしぎなモノが助けてくれた。えっ、ほくにしか見えないの？  
(あかね書房 本体1, 100円)

中学生におすすめ



**近未来の日本  
「すべては平和のために」**  
——文学のピースウォーク——  
酒野京子作  
白井裕子画  
十七歳の和菜は、国と国との紛争を調停する会社の社長の娘。独立間もない小国内の紛争調停員に指名され、旅立つ。彼女は内戦を終わらせることができるのか。  
(新日本出版社 本体1,800円)



**「小やぎのかんむり」**  
市川期久子著  
父の理不尽な行為や態度に苦しんでいた夏芽は、逃れるように、山寺でのサマーステイに応募する。しかし、参加者はただ一人。幼い雷太や近所の人々、やぎたちとの関わりで、夏芽は生きる力をつかんでいく。  
(講談社 本体1,400円)



**人の心を種として  
「うたうとは小さないのちひろいあげ」**  
村上しいこ著  
人数不足の「うた部」に入部した桃子。親友の綾美はかつて社絶ないじめを受け、不登校となっていた。個性的な部員達が短歌甲子園をめざす。短歌小説三部作の第一作。  
(講談社 本体1,500円)



**「向かい風に髪なびかせて」**  
河合二湖著  
従順な女の子・小春、モデルの優貴、「可愛い」が大事な夢美、整形したい野乃。見た目の差別に悩みながら毎日生きていく、四人の女子中学生の物語。  
(講談社 本体1,450円)



**木々に住むものたちとの駆けひきは  
「古森のひみつ」**  
川端則子作  
古くから守られてきた森を受け継いだフクロコ口大佐は、木を切り、壊までも亡き者にしようとする。しかし、奥谷の木や風の精と交わるうちに、彼の心は次第に...。  
(岩波書店 本体700円)



**「私たちに必要なのは少しの励まし  
「贈りもの」**  
ミナタリ・パークインズ作  
永瀬比奈訳  
ジャズミンは夏の間、ママが荷つたインドの孤児院へ、家族そろって行くことになった。そこで出会った少女グニタと、やさしく降りそそぐ雨は彼女の心を開いてゆく。  
(鈴木出版 本体1,600円)



**物言わぬ少女は何者なのか  
「月にハミング」**  
マイケル・モーバーゴ著  
杉田七重訳  
第一次世界大戦のころ、イギリスのシリー諸島で発見されたルーシー。人々の疑惑が渦巻くなか、少女の謎は次第に明らかになる。遠く離れた二つの物語が重なり合い、失われた記憶が取り戻される。  
(小学館 本体1,600円)



**「知っていますか、夜間中学  
「夜間中学へようこそ」**  
山本悦子作  
祖母が突然宣言した。「わたしも四月から学校だから。」つきそいで通うことになった優菜が夜間中学で出会った生徒たちは、年齢も国籍もさまざまだった。  
(岩崎書店 本体1,500円)

**～良書特別委員会では～**  
「良書特別委員会」は、富山市教育委員会生涯学習課から富山市PTA連絡協議会に活動を委託された特別委員会です。親子で楽しむ読書普及活動に貢献することを目的として、平成9年より活動しています。委員は、市内の各小中学校を通して広くPTA会員から募集しています。子どもの本の好きな方、一緒に活動しましょう。  
連絡先：富山市PTA連絡協議会事務局 TEL076-411-7901

**～市立図書館で本を展示します～**  
平成29年12月16日(土)から平成30年1月14日(日)まで、富山市立図書館本館3階 児童図書フロアにて、「おもしろい本みつけたよ」第21号で紹介した本を展示します。ぜひ、実際に本を手にとってみてください。最新号とバックナンバーは、富山市PTA連絡協議会のHPで見ることができます。  
富山市P連 検索





**野生のリスとすごした4年**  
「エソリス 北国からの動物記8」  
竹田津実文・写真

北海道にすむエソリスは、小さく、小さな耳と赤い毛がめだつ、大きめのリス。動物のお医者さんがきびしい自然の中でたくましく生きるリスたちをそつと見まもる。

(アリス館 本体1,400円)



**恐竜は今も生きています**  
富田京一著  
下田昌晃絵

小さく羽毛におおわれた恐竜は、つばさをもち、空へとび、いん石のしょう突からにげのびた生きのこつた恐竜は、鳥に進化した今も地球をとびまわっている。

(ポプラ社 本体1,300円)



**数え方って、ふしぎ!?**  
「みんなでつくる1本の辞書」  
飯田朝子文  
寄藤文平絵

えんぴつは1本、だけどタイヤも1本、ホームランも1本。「本」と数えるものには、どんな共通した特徴があるのだろうか。「本」と数えるモノヤコト、さがしてみよう。

(福音館書店 本体1,300円)



**みんなの夢をまもるため**  
「勇気の花がひらくとき」  
「やなせたかしとアンパンマンの物語」  
橋久美子文

自分の顔を食わせて勇気をくれる、みんなが大好きなアンパンマン。やなせ先生が悲しく苦しい経験をし、生きる意味を考えつづけて誕生したヒーローだった。

(フレーベル館 本体1,200円)



**ハンディを個性に**  
「義足でかがやく」  
城島充著

足を失っても、スポーツができる、おしゃれもできる。義足という宝物は、失った自信も取りもどしてくれた。挑戦する子どもたちと、サポートする人たちの物語。

(講談社 本体1,200円)



**関係ないことじゃない!**  
「100年後の水を守る」  
「水ジャーナリストの20年」  
橋本淳司著

いきすぎた人間の行動がひき起こした水問題。被害を調査し、情報を発信する著者が、小学生に「水の授業」をはじめた。100年後の水を守る方法を伝えるために。

(文研出版 本体1,400円)



**未来を変えるために生きる**  
「希望のダンス」  
「エイズと闘ったラファエラもまた」  
渋谷敦志・写真・文

貧困とエイズで、子どもたちの親が大勢死んでしまった。貧しい暮らしから抜け出すために必要なのは、教育と自信。子どもたちは未来を信じておどりはじめた。

(学研プラス 本体1,500円)



**ひいきのチームを探してみよう**  
「学校が教えないほんとうの政治の話」  
斎藤美奈子著

「いまの世の中って何かおかしい」と思うのが社会参加の第一歩。でも政治的な立ち位置を知らないと参加するのは難しい。自分の意見の持ち方を教えてくれる本。

(筑摩書房 本体820円)

良書特別委員会

- |                 |                |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 委員長 内山 貴代 (附属中) | 委員 岡本 達也 (附属中) | 委員 杉政貴美子 (新保小) | 委員 古市 容子 (光陽小) |
| 副委員長 東 佳子 (新保小) | 小野由美子 (長岡小)    | 千代 康裕 (八幡小)    | 本多まさ子 (上滝中)    |
| 井上美友紀 (遠星小)     | 草野 裕美 (附属中)    | 高森貴代子 (豊田小)    | 松井 三枝 (藤ノ木小)   |
| 深山 敦子 (瀬川南小)    | 久保 あき (西堤小)    | 田嶋 嗣子 (杉原小)    | 松田 佳美 (瀬川南小)   |
| 計 嶋之内晶子 (遠星小)   | 熊野 晴美 (瀬川小)    | 竹内 絢子 (五福小)    | 本谷美恵香 (山室小)    |
| 委員 磯原 知里 (附属小)  | 齊藤真里江 (附属中)    | 柘植 節子 (西堤小)    | 吉池 豊子 (萩浦小)    |
| 伊藤美寿穂 (瀬川中)     | 酒井ますみ (芝園中)    | 永石 寿代 (光陽小)    |                |
| 井上 薫純 (北部中)     | 澤 ユキ子 (鶴坂小)    | 馬場 嘉子 (附属小)    | 顧問 河上 仁栄 (大泉中) |
| 江尻 真紀 (新庄小)     | 清水 祥子 (遠星小)    | 濱井 美佳 (五福小)    | 吉川 満博 (中央小)    |
| 大成 佳苗 (附属中)     | 菅原 裕子 (西部中)    | 林 好恵 (藤ノ木小)    |                |